

事務事業評価表 平成22年度

政策 安全で快適な都市生活の充実
 施策 市街地整備の充実
 基本事業 安全で憩える公園の整備

事業名 **市民参加による公園づくり事業**

[0315]

部名	建設部	事業開始年度	平成15年度	実施計画事業認定	対象
課名	都市建設課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>市民参加による再整備公園</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>市民参加により市民協働のシンボルとなる公園として改修整備する。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>再整備が必要な公園を選定し、地域の子ども達や自治会の参加により実施する。</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	再整備公園数	カ所	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	ワークショップ開催数	回	4	4	4	4
活動指標2						
成果指標1	累計整備公園数	カ所	5	6	7	8
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	20,093	17,899	18,930	20,953
正職員人件費 (B)		千円	5,443	5,433	2,904	2,915
総事業費 (A) + (B)		千円	25,536	23,332	21,834	23,868

費用内訳	
21年度	委託料 891千円、工事請負費 17,986千円、負担金 補助及び交付金 53千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	ワークショップを行い整備内容を地域と共に考え地域に根ざした特色ある公園整備を市民協働で進めるため。	事業を取り巻く環境変化	現在の再整備状況では年1か所程度しか改修できない状態にある。市内の公園の老朽化は、将来の修繕費の高騰、公園の安全性の低下に繋がるが、現下の経済情勢では、全ての公園の改修は困難であるため、モデル的な公園整備を進める一方、利用状況の少ない公園については、施設内容から見直しが求められている。
--------	---	-------------	---

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業

妥当である

妥当性が低い

理由
・
根拠は？

都市公園法第二條の三(都市公園の管理)都市公園の管理は、地方公共団体の設置に係る都市公園にあつては当該地方公共団体が(省略)行う

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい

貢献度ふつう

貢献度小さい

基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

本事務事業は、市民参加により市民満足度の高い改修整備計画を立案し、それを施工することであるから、基本事業への貢献は大である。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている

どちらかといえばあがっている

あがらない

理由
・
根拠は？

年に1公園ではあるが着実に再整備が進んでいる。

(4)成果が向上する余地(可能性)は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大

成果向上余地 中

成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

市民自ら整備計画に携わり市民満足度の高い計画を立案し施工していることから既に高い市民の評価を得ていると考えているため、成果向上の余地は中位と考えられる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト(予算+所要時間)を削減する新たな方法はありませんか？(受益者負担含む)

ある

ない

理由
・
根拠は？

再整備に当たり利用できる施設は最大限利用し、コストダウンに努めているが、予算の制約で要望にこたえられないケースが多い。